

活動計算書および貸借対照表作成の注意点

記載例(定款にその他の事業が掲げられていない場合)

令和3年度 活動計算書

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

前年度報告

特定非営利活動法人〇〇〇〇
(単位:円)

科目	金額	
I 経常収益		
1. 受取会費	650,000	
2. 受取寄附金	290,000	
3. その他収益	10,000	
経常収益計		950,000
II 経常費用		
1. 事業費		
(1) 人件費		
臨時雇賃金	200,000	
人件費計	200,000	
(2) その他経費		
旅費交通費	300,000	
通信運搬費	100,000	
その他経費計	400,000	
事業費計		600,000
2. 管理費		
(1) 人件費		
人件費計	0	
(2) その他経費		
印刷製本費	150,000	
通信運搬費	100,000	
減価償却費	50,000	
雑費	50,000	
その他経費計	350,000	
管理費計		350,000
経常費用計		950,000
当期正味財産増減額		0
前期繰越正味財産額		450,000
次期繰越正味財産額		450,000

令和4年度 活動計算書

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

今回報告

特定非営利活動法人〇〇〇〇
(単位:円)

科目	金額	
I 経常収益		
1. 受取会費	750,000	
2. 受取寄附金	290,000	
3. その他収益	10,000	
経常収益計		1,050,000
II 経常費用		
1. 事業費		
(1) 人件費		
臨時雇賃金	200,000	
人件費計	200,000	
(2) その他経費		
旅費交通費	300,000	
通信運搬費	100,000	
その他経費計	400,000	
事業費計		600,000
2. 管理費		
(1) 人件費		
人件費計	0	
(2) その他経費		
印刷製本費	150,000	
通信運搬費	100,000	
減価償却費	50,000	
雑費	50,000	
その他経費計	350,000	
管理費計		350,000
経常費用計		950,000
当期正味財産増減額		100,000
前期繰越正味財産額		450,000
次期繰越正味財産額		550,000

当該事業期間を記載してください。

法人名を記載してください。

令和3年度活動計算書の「次期繰越正味財産額」と金額が一致することを確認してください。

令和3年度活動計算書の「次期繰越正味財産額」が、令和4年度活動計算書の「前期繰越正味財産額」となります。

当該事業年度の末日を記載してください。

法人名を記載してください。

令和3年度 貸借対照表

令和4年3月31日現在

前年度報告

特定非営利活動法人〇〇〇〇
(単位:円)

科目	金額	
I 資産の部		
1. 流動資産		
現金預金	300,000	
流動資産合計		300,000
2. 固定資産		
有形固定資産		
什器備品	150,000	
固定資産合計		150,000
資産合計		450,000
II 負債の部		
1. 流動負債		
流動負債合計		0
2. 固定負債		
固定負債合計		0
負債合計		0
III 正味財産の部		
前期繰越正味財産		450,000
当期正味財産増加額		0
正味財産合計		450,000
負債及び正味財産合計		450,000

令和4年度 貸借対照表

令和5年3月31日現在

今回報告

特定非営利活動法人〇〇〇〇
(単位:円)

科目	金額	
I 資産の部		
1. 流動資産		
現金預金	450,000	
流動資産合計		450,000
2. 固定資産		
有形固定資産		
什器備品	100,000	
固定資産合計		100,000
資産合計		550,000
II 負債の部		
1. 流動負債		
流動負債合計		0
2. 固定負債		
固定負債合計		0
負債合計		0
III 正味財産の部		
前期繰越正味財産		450,000
当期正味財産増加額		100,000
正味財産合計		550,000
負債及び正味財産合計		550,000

活動計算書の「次期繰越正味財産額」と、貸借対照表の「正味財産の部」の合計額は一致することを確認してください。

活動計算書の前期繰越正味財産額、当期正味財産増加額と金額が一致することを確認してください。

「資産合計」と一致することを確認してください。